製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

JUNSEI

1, 化学物質等及び会社情報

製品名　　(特級) イソ吉草酸イソブチル　　Isobutyl isovalerate
整理番号　15070
作成日　　2007 年 10 月 18 日

会社名　　純正化学株式会社
本社住所　　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-4-16
●連絡先及び緊急連絡先 (MSDS 作成担当)
担当部門　　試薬営業統括部　　担当者　　菅野英奇
担当住所　　〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1－6
電話番号　　048-988-3621　　FAX 番号　048-988-8719
E-mail: h_kanno@junsei.co.jp
http://www.junsei.co.jp

用途と使用上の注意:　本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】(NITE･純正化学分類)

物理化学的危険性
　引火性液体　　:区分3
健康に対する有害性
　急性毒性　経口　　:区分外
　　経皮　　:区分外
　皮膚腐食性／刺激性　　:区分3

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】



【注意喚起語】

警告

【危険有害性情報】

●引火性液体及び蒸気
●皮膚刺激

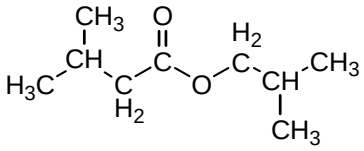
【注意書】

【安全対策】

・容器を接地すること／アースをとること。
・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
・火災を発生しない工具を使用すること。
・熱／火花／裸火／高温のものから遠ざけること。－禁煙。
・容器を密閉しておくこと。
・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【救急処置】
・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
・皮膚(または髪)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
・皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
【保管】
・涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
【廃棄】
・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3，組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品
化学名：イソ吉草酸イソブチル
示性式又は分子式： C9H18O2
CAS No：589-59-3
含有量：100%
化審法：2-776
安衛法：公表
構造式



4，応急措置

○ 吸入した場合：新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。
○ 皮膚に付着した場合：汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。
○ 眼に入った場合：先ず数分間、多量の水で洗い流す（できればコンタクトレンズをはずす）。医師に連れて行く。
○ 飲み込んだ場合：吐かせない。意識あるなら、口をすすぎ、2－4杯の牛乳か水を与える。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

5，火災時の措置

消火剤
水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF（水性膜泡消火薬剤）、泡消火薬剤、二酸化炭素。
使ってはならない消化剤

データなし

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性：データなし

特有の消火方法：データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具：防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

－蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、
局所排気したり、保護具を着用する。

－作業場を換気する。

－作業中は飲食、喫煙をしない。

－強酸化剤との接触に注意する。

保管

－火気厳禁。

－密栓して換気のよい冷暗所に保管する。

－強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置

通気：換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

暴露限界：規制値は設定されてない

設備対策

局所排気装置

保護具

－ 有機ガス用防毒マスク。送気マスク、空気呼吸器等。

－ 不浸透性保護手袋。

－ 安全ゴーグル。

－ 不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観：無色透明液体

臭い：データなし
pH: データなし
融点：データなし
沸点：168℃
引火点：57℃　　引火性液体：区分3
爆発範囲の上限・下限: データなし
蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
比重（相対密度）：0.85
溶解度：水に僅かに溶ける
n-オクタノール／水分配係数：データなし
自然発火温度：データなし
分解温度：データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性:常温常圧で安定
避けるべき条件（静電放電、衝撃、振動など）：データなし
混触不可物質：強い酸化剤
危険な分解生成物：
危険な重合反応：しない

11, 有害性情報

急性毒性 経口
LD50 > 5g/kg ラット　　区分外
LD50 = 7755mg/kg ウサギ
急性毒性 経皮
LD50 > 5g/kg ウサギ　　区分外
急性毒性 吸入：ガス
データなし
急性毒性 吸入：蒸気
データなし
急性毒性 吸入：粉塵ミスト
データなし
皮膚腐食性／刺激性
ウサギ 500mg 24H: 中位　　区分2
眼に対する重篤な損傷性／刺激性
データなし
呼吸器感作性
データなし
皮膚感作性
データなし
生殖細胞変異原性
データなし
発がん性
データなし

生殖毒性
データなし
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)
データなし
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)
データなし
吸引性呼吸器有害性
データなし

12, 環境影響情報
－生態毒性
水性環境急性有害性
データなし
水性環境慢性有害性
データなし
－残留性・分解性(化審法既存化学物質の安全性点検):
－生体蓄積性(同上):
－土壌中の移動性

13, 廃棄上の注意
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実におこなう。

国連番号:1993
品名:その他の高引火点引火性液体
国連分類:3.3
容器等級:III
海洋汚染物質:該当

15, 適用法令
消防法:危険物第4類第二石油類非水溶性危険等級III
毒劇法:非該当
PRTR法:非該当
労働安全衛生法:安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号):非該当

16, その他の情報
参考文献
－メルクインデックス13版5162
－STNインターナショナル RTECS ファイル
－危険物船舶運送及び貯蔵規則;危険物総索引(九訂版) 日本海事検定協会(海文堂)
－NITE GHS 分類マニュアル(H18.2.10 版)

－製品安全データシートの作成指針（改訂第2版）（（社）日本化学工業協会）

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途, 用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。